

5-2 災害対策の充実

■危機管理体制の充実

⑥危機管理体制の充実

【事業の趣旨】

水質汚染や地震などの災害により施設に大きな被害が出た場合には、市防災担当部局や岡山県西南水道企業団あるいは関係団体等との連携を図り、迅速に対応できるよう危機管理体制の充実に努めます。

【事業の概要】

防災訓練の充実

岡山県西南水道企業団と合同による実践的な訓練を実施し、防災に関する知識や技術の取得、職員間の連携強化及び意識の高揚を図ります。また他都市から派遣された応援者や復旧作業者に対して、的確な情報提供や作業指示が出せるように訓練を行います。

災害対策マニュアルの作成

岡山県西南水道企業団との調整をはかりつつ、災害対策マニュアルを作成します。

災害対策情報の提供

給水ルートや給水拠点など災害対策に関する情報を、市のホームページや広報紙等を通じて広く住民に提供することで、効率的な応急給水活動を目指します。

応急復旧活動

応急復旧活動は以下のフローに沿って行います。



■相互連携の強化

⑦相互連携の強化

【事業の趣旨】

阪神・淡路大震災クラスの地震により大きな被害が発生した場合、広範多岐にわたる応急給水、応急復旧が必要となり、本市だけの対応では限界があります。こうした有事にも迅速な対応が出来るよう、相互応援体制の強化を図ります。

【事業の概要】

水道災害相互応援の強化

災害発生時には、応急給水や応急復旧作業を迅速に行う必要があることから、本市の災害時相互応援協定締結都市や日本水道協会への応援要請等の連携・強化に努めます。また迅速な応急復旧が出来るように笠岡管工事協同組合、管資材業者との連携強化も図ります。

■水道施設の耐震化

⑧水道管路の更新と耐震化

【事業の趣旨】

漏水や破損事故の原因となっている老朽化した鉄管や硬質塩化ビニル管、石綿セメント管を計画的に更新します。また重要路線については耐震性に優れた管に更新し、安定供給に努めます。

【事業の概要】

老朽化管の更新

耐用年数が経過し老朽化した鉄管・鋼管・ビニル管は、経過年数に加え埋設環境等を考慮した判定をし、計画的な更新に努めます。工事の施工は下水道事業等との同時施工に努め、重要路線に関しては耐震管(NS型ダクタイル鉄管)への移行を検討します。

石綿セメント管の更新

石綿セメント管は軽量で加工性が良いことから、過去に水道管として使用されていましたが、振動に弱く地震等による破損の危険性が高いことから優先的に更新します。平成20年度を目標に全路線を更新し、安定供給に努めます。

平成18年度末時点で法定耐用年数を経過した管路

	種別	口径	延長	布設年度
一般配管	ダクタイル鉄管	Φ200mm	550m	昭和41年以前
		Φ150mm	1,100m	//
		Φ100mm	190m	//
		Φ 75mm	360m	//
	水道用硬質塩化ビニル管	Φ100~50mm	22,000m	昭和56年以前
海底配管	合計		24,200m	—
	鋼管	Φ250mm	4,500m	昭和50~52年
	ポリエチレン管	Φ150~75mm	13,700m	昭和53~54年
合計		18,200m	—	

⑨基幹施設の耐震化

【事業の趣旨】

本市では平成17年度に全ての水道施設を対象とした耐震診断調査を行いました。災害時における飲料水と生活用水の確保を図るために、この調査結果に基づいて配水池やポンプ場の耐震化を進めます。



みの越配水池

【事業の概要】

耐震化、耐震補強の実施

耐震診断調査の結果、以下の配水池とポンプ場について耐震補強工事を予定しています。
平成24年度には全施設の耐震化が完了する予定です。

施設名称	種別構造	容量	施設名称	種別構造	容量
山代配水池	RC造	425m ³	北木島北配水池	RC造	310m ³
旭が丘配水池	RC造	170m ³	北木島南配水池	RC造	290m ³
園井配水池	RC造	315m ³	松山配水池	RC造	300m ³
大井配水池	RC造	600m ³	城見台配水池	RC造	240m ³
旭が丘加圧室	RC造	131m ³	入田配水池	RC造	450m ³
北木島加圧室	RC造	60m ³	北川低区配水池	RC造	350m ³
神外接合弁	RC造	100m ³	高島配水池	鋼板製	85m ³

【災害対策に関する業務指標】

指標 No	業務指標項目	H16	H17	H18	H28 (目標値)
2104	管路更新率(%)	1.22	0.93	0.67	<u>2.5</u>
2208	ポンプ所耐震施設率(%)	14.6	14.6	14.6	<u>100</u>
2209	配水池耐震施設率(%)	25.7	25.7	25.7	<u>100</u>
2210	管路の耐震化率(%)	3.4	3.4	3.4	<u>10</u>

5-3 環境・エネルギー対策の強化

■資源エネルギーの削減

⑩資源エネルギーの削減

【事業の趣旨】

笠岡市環境基本計画に基づき、エネルギーの有効活用、資源リサイクルの推進などの積極的な取り組みをとおして、環境に配慮した事業運営を推進します。

【事業の概要】

電力使用量の抑制

本市の配水方式は、主に自然流下方式のため電力使用量は少ないものとなっています。機械設備等の更新にあたっては、電力使用量の抑制ができる設備や工法の検討を行います。

燃料の節減

冷暖房や公用車は、環境に配慮したものを見つけるとともに、ムダのない運転に努めます。

■資源再利用の推進

⑪資源再利用の推進

【事業の趣旨】

循環型社会の実現に貢献するため、笠岡市環境基本計画に基づき、工事残土の有効活用、再生品の使用、グリーン商品の購入等で資源の再利用を促進します。

【事業の概要】

グリーン購入の推進

物品調達の際は必要性と環境への影響を十分考慮し、環境負荷の小さい製品の調達に努めます。

- ・制服、作業服については、再生繊維を使用し省資源につながるものを見つめます。
- ・文具、事務用品については、再生材を多く使用し長期使用が可能なものを選びます。
- ・印刷、情報用紙については、古紙パルプを多く使用しているものを選びます。

【環境・エネルギー対策に関する業務指標】

指標 No	業務指標項目	H16	H17	H18	H28 (目標値)
4001	配水量1m ³ 当たり 電力消費量(Kwh/m ³)	0.12	0.12	0.11	<u>0.10</u>

5-4 お客様サービスの向上

■サービスの向上

⑫サービスの向上

【事業の趣旨】

窓口による水道料金の支払いや事務手続き等の受付は、土日も含めて24時間の対応ができるよう改善してまいりました。また窓口受付のほかに電話やファックス、インターネットによる受付を導入し、お客さまサービスの向上に努めてまいりました。

今後もお客さまにとって、便利で利用しやすい窓口や支払い方法などの改善を行います。

【事業の概要】

窓口サービスの向上

窓口サービスの向上を目指し、苦情や問い合わせには、お客さまの立場に立って親切で適切に応対します。苦情に関してはフィードバックすることで今後の業務改善に活かします。

支払方法の利便性の向上

お客さまからの料金収納は、口座振替と納入通知書による窓口支払いの2通りで行っています。ほとんどのお客さまは口座振替による水道料金の収納をして頂いていますが、支払方法の利便性を高めるために、コンビニエンスストアからの料金納付やクレジット決済による料金納付を検討していきます。